



昨年のアートホール神戸「写真公募展〜こどもの世界〜“愛”」入選の作品「じごくのシャワー」
酒井 美奈子さん (西紀北小学校) 撮影

女性部サマーワークショップ

7月27日、マールワークショップが開催され、150人が参加した。で、「性にとらわれず自分らしく生きる」をテーマに、2017女性部サ

多様な性があることを教職員が学び、子どもたちに向き合いたい



仲岡しゅんさん

参加者にとって、教職員として知ることの大切さを学ぶとともに、今後どのよう



参加型ワークショップの講座IIでは、「性の多様性を尊重する学校づくり」と題した、兵庫教育文化研究所・ジェンダー平等教育部会からの模擬授業があつた。「身近なことから考えよう」と、劇では①「個室のトイレ」②「先生から

満月

組合立広田中学校 一年 藤原 千太郎

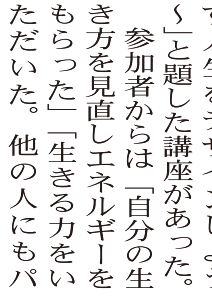
友達みんな太陽のように明るい
でも僕はあまり笑わない
あまり友達とも話さない
太陽になりたい
でもなれない
僕は三日月にもなれていない
そんな僕がある日を境に変わった
笑う、話す回数が増えた
少しだけ明るくなった気がする
太陽はまだ無理だけど
満月にはなれた気がする

「夜の魔法つかいたち」
たつの市立河内小学校 五年 木崎 悠久



澤田真由美さん

感想には、「教員の何気ない一言で子どもの心が傷つけられていることが心に残り研修の大切さを痛感した」「話し合いの場があり、他の方の意見が聞けて勉強になった」「制服やトイレなど具体的に学校としてできることを考えられた」といった声があつた。



掛水須美枝さん

第2分科会、金香百合さん(兵庫県立男女共同参画センター 登録講師)からは、「自分らしく生きるためのワーク・ライフ・バランス」と題した講座があつた。

感想には、「教員の何気ない一言で子どもの心が傷つけられていることが心に残り研修の大切さを痛感した」「話し合いの場があり、他の方の意見が聞けて勉強になった」「制服やトイレなど具体的に学校としてできることを考えられた」といった声があつた。

第3分科会、掛水須美枝さん(兵庫県立男女共同参画センター 登録講師)からは、「自分らしく生きるためのワーク・ライフ・バランス」と題した講座があつた。

感想には、「教員の何気ない一言で子どもの心が傷つけられていることが心に残り研修の大切さを痛感した」「話し合いの場があり、他の方の意見が聞けて勉強になった」「制服やトイレなど具体的に学校としてできることを考えられた」といった声があつた。

第3分科会、掛水須美枝さん(兵庫県立男女共同参画センター 登録講師)からは、「自分らしく生きるためのワーク・ライフ・バランス」と題した講座があつた。



第2分科会での様子

ワーを与えられる生き方をめざしたい」「自尊感情・エンパワー・栄養理論など、人生において大切なことを学ぶことができた」「職場で活かそうと思った」といった感想があつた。

夏のビアまつり

夏の納涼会・親睦会など、様々なシーンに

前売りチケット価格
お一人様 (税込・サービス料込) **2,900円** (当日価格 3,400円)

特典 毎週火曜日は90分⇒120分へ(予約要)

料理

- ◆神戸ポーク鉄板焼き80g(実演)
- ◆シーザーサラダ
- ◆麻婆茄子 彩り野菜添え
- ◆枝豆
- ◆若鶏の唐揚げ
- ◆蒸し飲茶二種
- ◆粗挽きソーセージ
- ◆ピリ辛ソース焼きそば



2017年7/18(火) ▶ 2017年8/31(木)

17:00~21:00(最終来店20:00) 日曜日・祝日・お盆期間(11日~15日)は除く

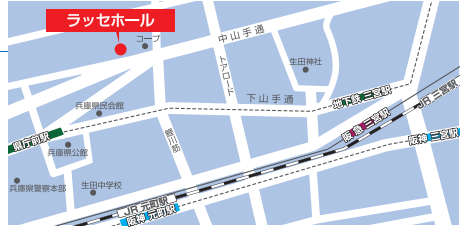
飲み放題メニュー

- ◆キリン一番搾り生ビール ◆キリン黒生ビール ◆ハードシードル(リンゴのお酒)
- ◆ウイスキー ◆ハイボール ◆焼酎数種
- ◆酎ハイ各種 ◆梅酒 ◆赤・白ハウスワイン
- ◆オレンジジュース ◆アップルジュース ◆ウーロン茶

※前売りチケットはフロントでご購入ください。
※個室・宴会場のご利用はできません。
※30分延長の場合は、お一人様500円の追加料金を頂戴いたします。
※満席でお席が準備できない場合がありますので、事前予約をおすすめします。
★未成年者の飲酒は固くお断りします。

ご予約・お問い合わせはこちら 078-291-1311

ラッセホール
〒650-0004
兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10-8
TEL.078-291-1117 (代表)
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com





「夜の魔法つかいたち」
たつの市立河内小学校 五年 木崎 悠久
(こどもの詩と絵 第37集より)

第51回 日教組 近畿・北陸・東海ブロック (三プロ) 合同 《in 大阪》 障害児教育学習会



迫川 緑さん

全体会では、下坂千代子さん(日教組障害児教育部長)からの情勢報告の後、映画「みんなの学校」の監督である迫川緑さん(関西テレビ)さんから「インクルーシブ教育をすすめるために」と題した記念講演があった。

講演では、「障害があってもなくても、いっしょに育つということ」→大空小学校で感じたことから、全国2万校の小学校が、大空小学校のように、あらゆる子どもがともに学ぶことのできる学校をめざしたいとした。また、就学についての歴史的な経緯とともに、インクルーシブ教育システムの問題点や障害児の保護者の不安などがあげられた。その中で、ともに学ぶことの意義とは、①「子どもは子どもの中で育つ」、②「誰も『取り出されない』安心感とは、誰も取り出されなければ、自分も取り出されることはないこと」、③「いろんな友達がいることを知る」とした。

「子どもは子どもの中で育つ」

7月28日・29日の2日間、アウイナ大阪を会場に、第51回日教組近畿・北陸・東海ブロック(三プロ) 合同による障害児教育学習会が開催され、兵教組から27人が参加した。



分科会では各府県から計13本の報告が持ち寄られた。兵教組からも第1分科会「就学と学習の権利保障」で、伊達実さん(姫路・東小)が「医療的ケアを必要とする児童の学びとインクルーシブ教育」と題した報告をおこなった。

報告では、人口呼吸器を付け、胃ろうによる水分と栄養の注入が必要な児童とクラスの子どものための、子どもたちのコミュニケーションで仲良くなる様子や医療的ケアをおこなう保護者に対して、それ以外の時間も学校に付き添うことをもめる管理職、医療的ケアにばかり目をむけて教育的な配慮に至らず、授業や行事を工夫する方向を持たない学校の課題などがあげられた。

第2分科会「教育内容の創造と集団づくり」では、秋田久美さん(掛龍・太田小)が「インクルーシブ教育をめざすとりくみ」→共に生きる社会の実現をめざして」と題した報告をおこなった。

児童数が1,000人を超える大規模校に、4種7学級の特別支援学級があり、30人以上の児童が在籍

第29回 兵教組栄養教員部夏季学習会



山名幸一さん

8月2日、ラッセホールで、第29回兵教組栄養教員部夏季学習会が開催され、県内各地より104人が参加した。

基調提案の後、全体会では「ともに考えよう、私たちの運動・組合」をテーマに、山名幸一さん(兵退教協副会長・元兵教組執行委員長)による講演があった。

山名さんは「兵庫の子どもの教育と学校を守り、教職員がいよいよと働くことができる職場づくりをめざして!」最近の話題から少し考えてみるとして、富永良喜さん(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科・臨床心理士・博士)の「子どもたちを見守るおとなの役割」心をつなぐ子どもへの寄り添い「中島京子さん(作家)による森友問題の本質「イデオロギー教育の危険」若槻武行さん(フリーライ

ター)の「種子法廃止で何がおこるか?」の記事より、国民を軽視する政権やこれら問題が教育現場へもたらす影響や問題などが提起された。

結成70周年を迎える兵教組について、結成当時から現在に至るまでの歴史の中で、諸先輩がいかにして今ある権利を勝ち取ってこられたかが語られた。特に、栄養教員部から栄養教員部へのとりくみでは、「語り継ぐ兵教組60年」より抜粋された、「栄養教員部のあゆみ」福嶋美千代さん(元兵教組栄養教員部長)の「人は組織を作り、組織によって守られる」という言葉からも、運動の継承の大切さが語られた。

参加者からは、「世代交代期の中で、若い仲間と伝えていくことの大切さを感じた」「組合活動とは何か、栄養教員部の原点となる運動が聞け、今の恵まれた環境に感謝する」「私たち自身、子どもたちに必要

仲間と話せば、新たな発見や気づきへ



なことを考え、声をあげていきたい」「組合活動を通じて、私たちの課題を共有し、組織強化をはかりたい」といった声が寄せられた。

午後からのグループ討議では、A 食物アレルギー、B 中学校における給食・食育、C 特別支援学校(支援の必要な児童・生徒への対応を含む)における課題、D 共同調理場における課題、の4つに分かれて討議がおこなわれた。

参加者からは、A「市によってアレルギーへの対応の違いがあり、課題が見えた。また、参考にした内容もあり取り入れたい」、B「最近中学校給食が始まった市や、今後予定の市などから不安や課題など意見交流ができた。中学校給食は、やりにくいイメージがあったが、小学校と変わらないのではと思った」、C「普段、なかなか情報交換することはできないが、他校でのとりくみや困っていることなど共有できありがたかった」、D「センターから中学校へ指導へ行くことは難しいと思い込んでいたが、何も行動を起こさなければ変わらない。何事にもめげない事が大切!」の言葉に少しずつでもやってみようと思えた」との感想があった。

川上八郎
(伊丹市議員)

岩下あきら
(西宮市議員)

さきもと祐治
(前神戸市議員
須磨区)

みずおか俊一
(前参議院議員)

古田ひろあき
(三木市議員)

ひわだ充
(三田市議員)

つだ加代子
(川西市議員)

北野さと子
(宝塚市議員)

おくの尚美
(民主党兵庫
第7区総支部幹事)

もりかみ祐治
(南あわじ市議員)

三木浩一
(たつの市議員)

おなか利治
(明石市議員)

残暑お見舞い申し上げます。

兵政連(議員団)一同

夏休みファミリーパズル

まちがい探し

パズル制作: ひろ みよこ

右と左の絵をよく見くらべると、違っているところが10ヶ所あります。

どちらかの絵に10ヶ所赤丸を入れ、切り取ってはがきに貼って送ってください。お名前、年齢、組合名、住所(郵便番号も)を明記の上、ご応募ください。また、本紙の感想などもお寄せください。20人の方に粗品を差し上げます。

締め切り: 9月22日(消印有効)

あて先: 〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-10-8ラッセホール4F「教育ひょうご編集部」